様式第２号の１－②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第２号の１－①を用いること。

学校名	愛知ペット専門学校
設置者名	学校法人アイピーシー学園

１．「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数	省令で定める基準単位数	配置困難
文化・教養専門課程	プロトリマー科	夜・通信	69 単位	7 単位	
	ドッグトレーナー科	夜・通信	68 単位	7 単位	
	愛玩動物看護学科	夜・通信	120 単位	10 単位	
	ナーシング＆トリミング科	夜・通信	72 単位	7 単位	
	ナーシング＆トリミング科通信部	夜・通信	63 単位	6 単位	
（備考）					

２．「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

専門学校における情報提供等への取り組みに関するガイドライン（R8.5） https://aichipet.com/wp-content/uploads/koukai/202606gaidorain01.pdf

３．要件を満たすことが困難である学科

学科名
（困難である理由）

様式第２号の２－①【⑵-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第２号の２－②を用いること。

学校名	愛知ペット専門学校
設置者名	学校法人アイピーシー学園

１．理事（役員）名簿の公表方法

専門学校における情報提供等への取り組みに関するガイドライン（R8.5）
https://aichipet.com/wp-content/uploads/koukai/202606gaidorain01.pdf

２．学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	獣医師	R2.3.26 ～ R11.2.26	獣医療
非常勤	獣医師	R2.8.13 ～ R11.2.26	獣医療
（備考）			

様式第２号の３【⑶厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	愛知ペット専門学校
設置者名	学校法人アイピーシー学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

１．授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書（シラバス）を作成し、公表していること。	
（授業計画書の作成・公表に係る取組の概要） ・すべての授業計画は、学則に規定された授業時間に準じて年度毎に策定している ・その策定においては、教育課程編成委員会での答申を参考にしている ・授業計画の原案は、年度末（3 月）までに作成し、教育課程編成委員会での審議を経て、4 月末までに承認を得ることとしている ・学生への公表は、入学ガイダンス及び各科目初回授業にて開示し、同時にホームページにて公開掲示することとしている	
授業計画書の公表方法	プロトリマー科シラバス https://aichipet.com/wp-content/uploads/koukai/202606sirabasupt01.pdf ドッグトレーナー科シラバス https://aichipet.com/wp-content/uploads/koukai/202606sirabasudt01.pdf 愛玩動物看護学科シラバス https://aichipet.com/wp-content/uploads/koukai/202606sirabasuvnca01.pdf ナーシング＆トリミング科シラバス https://aichipet.com/wp-content/uploads/koukai/202606sirabasunt01.pdf ナーシング＆トリミング科（通信部）シラバス https://aichipet.com/wp-content/uploads/koukai/202606sirabasuntts01.pdf
２．学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
（授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要） ・各科目の成績評価は、学年末において、各学期末に行う定期試験・実習の成果・出席状況等を総合的に勘案して行っている ・成績評価は、「専修学校が授業科目の履修とみなすことができる学修」に基づき、6 つの評価区分を定めて行っている ・評価の基準となる試験評価は、各試験の平均点または正答率を基準として 4 段階に評価をしている ・また、同基準となる出席評価は 100 点法による 4 段階に評価をしている ・さらに資格試験の合否や、日常の学習態度をその提出物などで評価している	
３．成績評価において、ＧＰＡ等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。	

<table>
<tr><td colspan="2">（客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要）
・出席評価は、100 点法による 4 段階評価とし、出席点の 65 点以上の上位 3 段階までを認定とする
・試験評価は、試験の平均点または正答率による 4 段階評価とし、左記基準からの65%以上を認定とする
・資格ライセンス等の合否結果でしか評価が得られないものは、合格者を履修認定し、不合格者に対しては、再受験もしくは当校が作成した別途試験を受験させ、再受験合格もくしは別途試験の 65%以上を合格とし認定する
・試験評価ができない科目については、日常評価の方法や元となる書類等の提出にて認定する</td></tr>
<tr><td>客観的な指標の
算出方法の公表方法</td><td>刊行物を職員室に設置
（成績評価及び単位認定に関する内規）</td></tr>
<tr><td colspan="2">４．卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</td></tr>
<tr><td colspan="2">（卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要）
・学則第 19 条の課程修了の認定は、授業科目の成績評価に基づいて認定を行う
・各学科目標に基づき、所定の履修認定基準に該当する学生は、専門家としての知識のみでなく、試験評価以外のものと総合的に判断することで、実践的な技術力も修得されたと評価できるとして認定している</td></tr>
<tr><td>卒業の認定に関する
方針の公表方法</td><td>専門学校における情報提供等への取り組みに関するガイドライン（R8.5）
https://aichipet.com/wp-content/uploads/koukai/202606gaidorain01.pdf</td></tr>
</table>

様式第２号の４－②【⑷財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第２号の４－①を用いること。

学校名	愛知ペット専門学校
設置者名	学校法人アイピーシー学園

１．財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://aichipet.com/wp-content/uploads/koukai/202606zaimu01.pdf
収支計算書又は損益計算書	https://aichipet.com/wp-content/uploads/koukai/202606zaimu01.pdf
財産目録	https://aichipet.com/wp-content/uploads/koukai/202606zaimu01.pdf
事業報告書	https://aichipet.com/wp-content/uploads/koukai/202606jigyouhoukoku01.pdf
監事による監査報告（書）	https://aichipet.com/wp-content/uploads/koukai/202606kansahoukoku01.pdf

２．教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
文化・教養	文化・教養専門課程	プロトリマー科	○	―

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	73	16	5	25	0	0

学生総定員数	学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
40人	40人	0人	3人	2人	5人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） ・すべての授業計画は、学則に規定された授業時間に準じて年度毎に策定している ・その策定においては、教育課程編成委員会での答申を参考にしている ・授業計画の原案は、年度末（3月）までに作成し、教育課程編成委員会での審議を経て、4月末までに承認を得ることとしている ・学生への公表は、入学ガイダンス及び各科目初回授業にて開示し、同時にホームページにて公開掲示することとしている
成績評価の基準・方法
（概要） ・各学期末に行う試験・実習の成果や出席時数等の履修状況等を総合的に勘案して成績評価を行う
卒業・進級の認定基準

（概要） ・所定の修業年限以上在学及び開設する授業科目の成績評価に基づく課程修了の認定を受けた者に卒業・進級の認定を行う
学修支援等
（概要） ・主に担任による個人面談（電話連絡および保護者面談等含む）

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
22 人 （100%）	0 人 （0%）	21 人 （95%）	0 人 （0%）
（主な就職、業界等） ペット業界、主にペットサロン			
（就職指導内容） ・主に担任による個人指導または進路指導室			
（主な学修成果（資格・検定等）） 日本動物専門学校協会ペットトリマー3 級・2 級・1 級 ペットエステテイック国際協会ＢＲＯＮＺＥ、ＳＩＬＶＥＲ			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
35 人	0 人	0%
（中途退学の主な理由） 特になし		
（中退防止・中退者支援のための取組） 随時、個人面談を実施（担任、進路相談室、学校長など）、 必要に応じ、保護者との三者面談や家庭訪問なども実施する。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
文化・教養	文化・教養 専門課程	ドッグトレーナー科	○	―

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	72	17	5	50	0	0

学生総定員数	学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
40人	24人	0人	4人	5人	9人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）
・すべての授業計画は、学則に規定された授業時間に準じて年度毎に策定している
・その策定においては、教育課程編成委員会での答申を参考にしている
・授業計画の原案は、年度末（3月）までに作成し、教育課程編成委員会での審議を経て、4月末までに承認を得ることとしている
・学生への公表は、入学ガイダンス及び各科目初回授業にて開示し、同時にホームページにて公開掲示することとしている

成績評価の基準・方法

（概要）
・各学期末に行う試験・実習の成果や出席時数等の履修状況等を総合的に勘案して成績評価を行う

卒業・進級の認定基準

（概要）
・所定の修業年限以上在学及び開設する授業科目の成績評価に基づく課程修了の認定を受けた者に卒業・進級の認定を行う

学修支援等

（概要）
・主に担任による個人面談（電話連絡および保護者面談等含む）

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
17人 （100%）	0人 （0%）	12人 （70%）	0人 （0%）

（主な就職、業界等）
ペット業界、主に犬のしつけ方教室、ペットショップ、犬猫の保護施設など

（就職指導内容）
・主に担任による個人指導または進路指導室

（主な学修成果（資格・検定等）） 日本動物専門学校協会ドッグトレーナー3 級・2 級・1 級 愛玩動物飼養管理士 2 級・1 級
（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
36 人	4 人	11%
（中途退学の主な理由） 病気・進路変更など		
（中退防止・中退者支援のための取組） 随時、個人面談を実施（担任、進路相談室、学校長など）、 必要に応じ、保護者との三者面談や家庭訪問なども実施する。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
文化・教養	文化・教養 専門課程	愛玩動物看護学科	○	―

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	134	73	17	44	0	0

学生総定員数	学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
90人	77人	0人	4人	8人	12人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）
・すべての授業計画は、学則に規定された授業時間に準じて年度毎に策定している
・その策定においては、教育課程編成委員会での答申を参考にしている
・授業計画の原案は、年度末（3月）までに作成し、教育課程編成委員会での審議を経て、4月末までに承認を得ることとしている
・学生への公表は、入学ガイダンス及び各科目初回授業にて開示し、同時にホームページにて公開掲示することとしている

成績評価の基準・方法

（概要）
・各学期末に行う試験・実習の成果や出席時数等の履修状況等を総合的に勘案して成績評価を行う

卒業・進級の認定基準

（概要）
・所定の修業年限以上在学及び開設する授業科目の成績評価に基づく課程修了の認定を受けた者に卒業・進級の認定を行う

学修支援等

（概要）
・主に担任による個人面談（電話連絡および保護者面談等含む）

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
23人 （100%）	0人 （0%）	23人 （100%）	0人 （0%）

（主な就職、業界等）
ペット業界、主に動物病院

（就職指導内容）
・主に担任による個人指導または進路指導室

（主な学修成果（資格・検定等）） 愛玩動物看護師国家資格
（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
75 人	6 人	8%
（中途退学の主な理由） 病気・進路変更など		
（中退防止・中退者支援のための取組） 随時、個人面談を実施（担任、進路相談室、学校長など）、 必要に応じ、保護者との三者面談や家庭訪問なども実施する。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
文化・教養	文化・教養 専門課程	ナーシング＆ トリミング科	○	―

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	76	20	5	51	0	0

学生総定員数	学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
40人	16人	0人	1人	3人	4人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）
・すべての授業計画は、学則に規定された授業時間に準じて年度毎に策定している
・その策定においては、教育課程編成委員会での答申を参考にしている
・授業計画の原案は、年度末（3月）までに作成し、教育課程編成委員会での審議を経て、4月末までに承認を得ることとしている
・学生への公表は、入学ガイダンス及び各科目初回授業にて開示し、同時にホームページにて公開掲示することとしている

成績評価の基準・方法

（概要）
・各学期末に行う試験・実習の成果や出席時数等の履修状況等を総合的に勘案して成績評価を行う

卒業・進級の認定基準

（概要）
・所定の修業年限以上在学及び開設する授業科目の成績評価に基づく課程修了の認定を受けた者に卒業・進級の認定を行う

学修支援等

（概要）
・主に担任による個人面談（電話連絡および保護者面談等含む）

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
16人 （100%）	0人 （0%）	15人 （93%）	0人 （0%）

（主な就職、業界等）
ペット業界、ペットショップ、犬猫の保護施設など

（就職指導内容）
・主に担任による個人指導または進路指導室

（主な学修成果（資格・検定等）） 日本動物専門学校協会ドッグブリーダー3 級、2 級 愛玩動物飼養管理士 2 級
（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
30 人	4 人	13%
（中途退学の主な理由） 病気・進路変更など		
（中退防止・中退者支援のための取組） 随時、個人面談を実施（担任、進路相談室、学校長など）、 必要に応じ、保護者との三者面談や家庭訪問なども実施する。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
文化・教養	文化・教養 専門課程	ナーシング＆ トリミング科通信部	○	―

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3 年	通信	63		55	8	0	0

学生総定員数	学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
60 人	19 人	0 人	11 人	5 人	16 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）
・すべての授業計画は、学則に規定された授業時間に準じて年度毎に策定している
・その策定においては、教育課程編成委員会での答申を参考にしている
・授業計画の原案は、年度末（3 月）までに作成し、教育課程編成委員会での審議を経て、4 月末までに承認を得ることとしている
・学生への公表は、入学ガイダンス及び各科目初回授業にて開示し、同時にホームページにて公開掲示することとしている

成績評価の基準・方法

（概要）
・各学期末に行う試験・実習の成果や出席時数等の履修状況等を総合的に勘案して成績評価を行う

卒業・進級の認定基準

（概要）
・所定の修業年限以上在学及び開設する授業科目の成績評価に基づく課程修了の認定を受けた者に卒業・進級の認定を行う

学修支援等

（概要）
・主に担任による個人面談（電話連絡および保護者面談等含む）

R7 年度は 1 年次のみ

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
―人 （―%）	―人 （―%）	―人 （―%）	―人 （―%）

（主な就職、業界等）

（就職指導内容）

（主な学修成果（資格・検定等）） 日本動物専門学校協会ドッグブリーダー3 級
（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
10 人	1 人	10%
（中途退学の主な理由） 就職・勤務の都合		
（中退防止・中退者支援のための取組） 随時、個人面談を実施（担任、進路相談室、学校長など）、 必要に応じ、保護者との三者面談や家庭訪問なども実施する。		

②学校単位の情報

ａ）「学生納付金」等

学科名	入学金	授業料（年間）	その他	備考（任意記載事項）
プロトリマー科	210,000 円	630,000 円	441,000 円	実習費・施設管理費
ドッグトレーナー科	210,000 円	630,000 円	441,000 円	実習費・施設管理費
愛玩動物看護学科	210,000 円	630,000 円	441,000 円	実習費・施設管理費
ナーシング＆トリミング科	210,000 円	630,000 円	441,000 円	実習費・施設管理費
ナーシング＆トリミング科通信部	210,000 円	630,000 円	220,500 円	実習費・施設管理費
修学支援（任意記載事項）				

ｂ）学校評価

自己点検評価結果の公表方法
（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） https://aichipet.com/wp-content/uploads/koukai/202604gakkouhyouka01.pdf
第三者評価の基本方針（実施方法・体制）
・本年度は第三者評価を実施していないため、学校関係者評価の結果を公表し、これをもって第三者評価に代えるものとする。 ・当該専門課程の教育にふさわしい教育活動が実施されたことに対する成果を検証

し、必要な改善を速やかに行うことで教育水準の向上を図ることが重要である。また、学校教育活動に対し、ペット産業に関わる企業や保護者などと連携し、意見を積極的に組みとることで相互理解の促進を図り、教育活動の改善と発展を推し進める。

・委員会を構成する委員は、当該専修学校専門課程の関係者として企業等の役員又は職員をはじめ、教育に関する理解と見識のある者のうちから、校長が委嘱する。動物展示業、獣医療業、ペット販売業、ドッグトレーナー、ペットトリマーの５名で構成されている。

学校関係者評価の委員

所属	任期	種別
有限会社宇野獣医科　院長	令和８年４月１日～ 令和９年３月31日（14年目）	企業等委員
株式会社　エピックヴィジョン 代表取締役	令和８年４月１日～ 令和９年３月31日（3年目）	企業等委員
株式会社アイピーシー 事業管理部次長	令和８年４月１日～ 令和９年３月31日（14年目）	企業等委員
株式会社アイピーシー 浜松校　副主任	令和８年４月１日～ 令和９年３月31日（1年目）	企業等委員
株式会社アイピーシー わんわん動物園主任補佐	令和８年４月１日～ 令和９年３月31日（5年目）	企業等委員

学校関係者評価結果の公表方法

（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法）
https://aichipet.com/wp-content/uploads/koukai/202604gakkouhyouka01.pdf

（備考）

c）当該学校に係る情報

（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法）
https://aichipet.com/

（別紙）

※　この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※　以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が 1 人以上 10 人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が 0 人の場合には、「0 人」と記載すること。

学校コード（13 桁）	H123310000963
学校名（○○大学 等）	愛知ペット専門学校
設置者名（学校法人○○学園 等）	学校法人アイピーシー学園

１．前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者数 ※括弧内は多子世帯の学生（内数） ※家計急変による者を除く。		34 人（20）人	33 人（18）人	34 人（20）人
内訳	第Ⅰ区分	12 人	― 人	
	（うち多子世帯）	（―人）	（―人）	
	第Ⅱ区分	―人	―人	
	（うち多子世帯）	（―人）	（―人）	
	第Ⅲ区分	―人	―人	
	（うち多子世帯）	（―人）	（―人）	
	第Ⅳ区分（理工農）	0 人	0 人	
	第Ⅳ区分（多子世帯）	―人	―人	
	区分外（多子世帯）	―人	10 人	
家計急変による 支援対象者（年間）				0 人（0）人
合計（年間）				34 人（20）人
（備考）				

※　本表において、多子世帯とは大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第８号）第４条第２項第１号に掲げる授業料等減免対象者をいい、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分（理工農）とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第４９号）第２条第１項第２号イ～ニに掲げる区分をいう。

※　備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

２．前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

（１）偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	０人

（２）適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	０人	０人	０人
修得単位数が「廃止」の基準に該当 （単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が廃止の基準に該当）	０人	０人	０人
出席率が「廃止」の基準に該当又は学修意欲が著しく低い状況	―人	―人	―人
「警告」の区分に連続して該当 ※「停止」となった場合を除く。	―人	―人	０人
計	―人	―人	―人
（備考）			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の（２）のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）			
年間	０人	前半期	０人	後半期	０人

（３）退学又は停学（期間の定めのないもの又は３月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	０人
３月以上の停学	０人
年間計	０人
（備考）	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

３．前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

（１）停学（３月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

３月未満の停学	０人
訓告	０人
年間計	０人
（備考）	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

（２）適格認定における学業成績の判定の結果、停止を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
ＧＰＡ等が下位４分の１	０人	０人	０人

４．適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が「警告」の基準に該当	０人	０人	０人
ＧＰＡ等が下位４分の１	０人	０人	０人
出席率が「警告」の基準に該当又は学修意欲が低い状況	０人	０人	―人
計	０人	０人	―人
（備考）			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。